

銀漢亭日録



伊藤伊那男

10月24日(月)

▼「湯島句会」出句97人。出席47人と盛況。会の運営は実にスムーズ。20時過までに句会終了。親睦会も23時お開き。

25日(火)

▼ひまわり館にて「銀漢萩句会」16人。同人集秀句、銀漢エッセイなど書く。客少々。大学の先輩古川さん。対馬、小石さん。あと「旬句会」の面々。月野ぼなさん。

26日(水)

▼彗星集。盤水の二句他。12月号の担当原稿完了。月野ぼなさんと友人など。急に寒くなる。木枯 号と。

27日(木)

▼百人さんに借りた中井三好著「井上井月記」読了。名著。柚口満さんの第二句集「淡海」を祝う会。銀漢亭出入りの仲間40数名が集まる。「柚」「満」の文字を折り込んで2句出し句会。〈満面に色なき風を鳩の海〉で柚口さんの天賞の短冊貰う。古市枯声さんからこの日に合わせて秋刀魚を送った刺身に。皆大喜び！ 群馬県で踏青子さん、文部省の方と三人来店。高崎の養毛剤いただく。これは効きそう。

28日(金)

▼急に寒くなる。鹿島建設Yさん、役員と来店。発行所、「金星句会」終つて6人親睦会。

29日(土)

▼角川通信添削教室5人分。「纏句会」ゲスト土肥あき子さん。本日、町田の「早蕨句会」の吟行会あり、小生の手違いでダブルブッキング。すみません！ 句会あとすぐ退出し、小田急線鶴川駅前の料理店「大黒屋」へ。凜子、静男、勝さんなど12名と。勢いのある句会。選句と講評。会食。21時お開き。

30日(日)

▼散髪。日用品買物など。18時、今瀬剛「主宰」対岸「25周年祝賀会。京王プラザホテル。来賓140数名。会員170

8日(火)

真砂年さんも参加。居酒屋放浪記の吉田類さん来店。大町桂月、井上井月の話、酒の土産あり。
週末の「雲の峰」総会行きのご符、朝妻力氏より到来。至れり尽くせり、感謝。柴山つぐ子さんより「北軽句会」の内山寿子さんへの弔問の報告あり。95歳であった。駒ヶ根の宮澤宏治さんより、先日の井月講演会の詳細な記録届く。講演内容より、良くなっているのではないかと驚く。労、感謝！
「火の会」出句13人。丁度来店した矢野玲奈、佐藤文香、生駒大祐さんなどに選句してもらう。三輪初子さんが池田澄子、関根誠子さんと来店。谷岡、堀切、江森さんなど、演劇の帰りか……。盛況。

9日(水)

▼昼、発行所「梶の葉句会」(12人)選句に上る。夜、うさぎ、真砂年、麒麟さん勉強会。草田男について。

10日(木)

▼角川「俳句」平成俳壇選句。山積みの葉書のコピー減らず。14時から発行所は「湯島句会」の製本作業。逍遊さん派。店、残念ながら閑散。急に寒くなった。

12日(土)

▼京都着11時、東大谷の妻の実家の墓、妻の分骨の大谷祖廟にお参り。祇園「森庄」訪ね、妻の叔父、叔母をはじめ皆さんとお会いする。13時、ザ・パレスサイドホテル、「雲の峰」年次総会。63名の出席。志賀松声さんとお会いする。井上井月について講演。17時から宴会。あと隣のラウンジにて二次会と二句出し句会。23時半就寝。

13日(日)

▼8時半、バス2台で吟行会。まず永観堂。どうやら今年の京都の紅葉は駄目。市中へ戻り、空也堂。丁度、空也忌にてその準備の様子を拝見する。西本願寺近くにて昼食。逢坂の関近くの小督局を祀る清閑寺、あとトンネルを抜け山科花山稲荷神社のお火焚祭。神事から火焚まで見る。神主迫力あり、「罪穢失せなん！」と裂帛のお祓いを受ける。最後

31日(月)

▼「ウェブ俳句通信」65号へ「作句の上で今念頭にあること」特集へ原稿送る。店、「天為」発行所句会あとの6名程。他、特筆なし。

11月1日(火)

▼店の月次表作成など。ウーム。発行所「十六夜句会」今回のゲスト洋酔さん。終つて10人店。康代さん来店。明日誕生日と。居合わせた有史さんがヴァクリコ抜き乾杯。11時過閉めて十六夜メンバー5名と餃子屋。

2日(水)

▼「運河」同人評。これで二年間の執筆終了。発行所、「きざらぎ句会」終つて6人店へ。

4日(金)

▼8月の「俳壇」企画「白熱句会」のメンバーで数ヶ月に二回句会をやる話がその折出ていて、今日実現。水内慶太(「月の匣」、檜山哲彦(「りの」、藤田直子(「秋麗」、井上弘美(「汀」、木暮陶句郎(「ひろそ火」、小山徳夫(「爽樹」)当季雑詠10句。発行所は清人さん「大倉句会」終つて3人店へ。

5日(土)

▼10時、発行所にて運営委員会、新年大会、組織変更の件、会員フォローの件など。13時よりひまわり館にて「銀漢本部句会」45人。終つて「庄や」20名。あとコーヒー飲んで帰ろうということになったが何故か洋酔さん主導で「酔之助」。ああ……白鳳社の帰路、盤水先生とよく来た店。飲直し。

6日(日)

▼長女・桃子誕生日。35歳と。角川俳句年鑑の校正作業などに追われる。13時、中野サンプラザ「春耕同人句会」。

7日(月)

▼16時半、長崎の会員、隈本はるこさん、友人と来店。見本誌請求で入会された方である。19時から奥で企画部打合せ。発行所では勉強会。中村汀女について。終つて10人店へ。

まで見られずバスに戻り16時半、京都駅にて解散。折角の京都だったので二日店を休み遊ぶこととする。馴染みの店にて焼物はくじの二汐、さわらのかま。刺身はよこわ、車海老、うに。土瓶蒸、なまこ、こつて蟹、菜葉の炊いたん。あと先斗町など2軒ほど梯子。

14日(月)

▼イノダコーヒーにて朝食。親戚2軒ほど挨拶廻り。午後は伏見。御香宮、月桂冠、寺田屋など散策し油良酒店にて軽いつまみで伏見の酒八種類ほどを少しずつ味わう。市内に戻り錦市場散策。あと新幹線の出発時間まで皮はぎの薄作。焼物はくじのどくろ、くもこ。煮物は小芋、鯛の子。あとカキフライ、万願寺、梅ぞうすい……。いやあ食べた！

15日(火)

▼三日留守にしたので雑用多し。店閑散。

16日(水)

▼星雲集選句没頭。店登山の会11人(以前私は登山をしていた)。中島八起氏が手打ち蕎麦持参。赤羽良剛さん(購読会員)6人。伊那北同期会9人、宮澤と伊勢の宮司の河合さん、講談社の担当の方。発行所、「う句会」。坊城、肖子さん他6人来店。その他お客多数。

17日(木)

▼「銀漢句会」。欠席者多かった様子。終つて店へ13人。群馬の鈴木守さん、対馬さん。

18日(金)

▼雑務いろいろ。発行所「銀漢野村句会」。仕込み途中選句に上る。終つて7人店へ。まばらな来客。いまひとつ。

19日(土)

▼雨。家に籠り「銀漢」1月号の原稿書き進める。角川俳句の平成俳壇6300句から特選、佳作まで90句位を選句。宅急便で返送。

20日(日)

▼今日も原稿書き。夕方から成城・桃子の家。杏二家も来て食事会。大人5人。子供6人。からすみ、愛媛から取寄せた河豚鍋。